

# News Release

2010年3月29日  
富士生命保険株式会社

## “ゴールドリボン運動”推進のため寄付金を贈呈

富士生命保険株式会社（代表取締役会長兼CEO：三木栄一）は、CSR取組みの一環として、3月18日、「財団法人がんの子供を守る会」の「ゴールドリボン基金」に対し、寄付金を贈呈いたしました。

当社は、同財団の賛助会員として、がん治療により身体的・精神的影響を受けた子供たちを支援する活動を行っており、パンフレットやチラシを使った、社員および取引代理店の皆さまへの「ゴールドリボン運動」の啓蒙活動や、ゴールドリボンピンバッジやストラップの購入、および新商品「無解約返戻金型医療保険（“ゴールドメディ”および“ゴールドメディ・リッチ”）」の販売件数（2010年2月末で23,000件を突破）に応じた収益の一部の寄付活動等を行っております。

この日は、「富士生命2010年度キックオフミーティング」が開催され、幹部社員および主力代理店の皆さま約200名が見つめる中で、三木会長より同財団：中村信夫常務理事へ寄付金を贈呈し、その後、同財団から感謝状が授与されました。

当社では、今後も従来の取組みを継続するとともに、2010年3月より販売を開始しました「無選択型医療保険（“ゴールドメディ・ワイド”）」につきましても、「ゴールドリボン基金」への寄付対象商品とし、「ゴールドリボン運動」を応援してまいります。

以上

ゴールドリボンとは：小児がんに関するあらゆる支援の世界共通のシンボルマークであり、世界中の多くの団体がゴールドリボンを掲げ、小児がんへの理解の普及、治療研究、精神的・経済的支援などの目的で活動を行っています。日本では、子どもの病死順位の1位を小児がんが占めており、年間約550人の幼い命が失われています。



写真：三木会長（左）から寄付金を贈呈、中村信夫常務理事（右）より感謝状を授与

本リリースに関するお問い合わせは

企画部 宮後・三好 Tel 06-6261-1169 Fax 06-6261-0113

\* このニュースリリースは金融記者クラブ、関西金融記者倶楽部に配付しております。

 **富士生命保険株式会社**

〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-18-17